

よいしょ！泥んこ田植え 福井のこども園

福井市の社中央第一こども園(洲1丁目)、同第二こども園(運動公園1丁目)の年長児47人がこのほど、田植えを体験した。園児は泥の感触を楽しみながらハナエチゼンの苗を懸命に植えた。日本の主食である米の作り方を学ぼうと、農家から田んぼを借り、年間を通じて稲作体験を行っている。

この日は種池町の田んぼで、農家の中東和栄さん(71)とJA関係者4人が園児に苗の植え方を教えた。最初に、等間隔に苗を植えられるよう目印をつける枠転がしを園児が5、6人1組で交代しながら体験。「よいしょ」の掛け声に合わせて転がした。その後ぬかるんだ泥に足を取られないよ

う、慎重に苗を植えていった。

磯見咲翔君(6)は「泥の中を歩くのと、植えるのが難しかったけど楽しかった」と笑顔を見せた。今後ほかかし作りや、8月下旬には稲刈りを体験する予定。(横畑俊介)

田植えを体験する園児ら＝福井市種池町

